



何故、社会とつながる学びが必要なのか

認定NPO法人こまちぷらす
理事長 森祐美子

本日のポイント

- 学校の外（こどもたちが生きていく社会）
における協働の事例から考える
- 自分にとっての「学校と地域の連携の必然性」について考えを深める
- 連携の中で難しい局面、どう整理するか

本日の流れ

- 自己紹介
- 協働事例について
- 学校での事例について
- 協働のポイントについて
- ワーク
- まとめ



認定NPO法人こまちぷらす理事長。

2004年トヨタ自動車株式会社にて海外営業や海外調査を担当。第一子出産直後に感じた育児における孤独感やその後救われた経験から、2012年に退社しこまちぷらすを当時のママ友数人と立ち上げる。

現在横浜市戸塚区にてスタッフ約50人・ボランティア約300人とともに「こまちカフェ」「こよりどうカフェ」を拠点とした対話と出番の場づくり、企業との協働プロジェクトなどを展開。

2019年米フィッシュファミリー財団チャンピオン・オブ・チェンジ日本大賞にて入賞、2017年イスラエル政府招へいプログラム「女性ヤング・リーダーシップ・プログラム」メンバーに選出され1週間イスラエル訪問、2022年ザルツブルググローバルセミナーフェローに日本から30人のうちの1人に選ばれザルツブルグでの会議に参加、横浜市教育委員、元横浜市市民協働推進センター協働コーディネーター、元横浜市子ども子育て会議委員、90会員いる地元商店会の副会長を5期つとめる。

2児の母、趣味は山登りで百名山踏破目指している。

アイスブレイク

皆さんの自己紹介

※ペア

1. 名前、学校名
2. 今日聞きたいと思っていること
3. 自分の故郷で好きなところ
4. 何故先生になったか

グラウンドルール

1人 分×2人

1人4分話しきるまで

- ・話をさえぎらない/かぶせない
- ・否定しない

<テニスの壁打ち>をイメージしてください

本日の流れ

- 自己紹介
- 協働事例について
- 学校での事例について
- 協働のポイントについて
- ワーク
- まとめ

数字でみる事業概要：組織編

comachi
plus

スタッフ人数：約**50**人（2023年7月現在）

登録ボランティア数：約**300**人（こまちパートナー）



第7回健康寿命をのぼそう！アワード 厚生労働大臣 団体部門 優秀賞受賞
(2018年11月)

第13回かながわ子ども・子育て支援大賞「奨励賞」受賞 (2019年11月)

第12回地域再生大賞 準大賞受賞 (2022年1月)





こまちカフェ

#子どもの見守り
#遊び場
#お菓子工房
#手づくり雑貨マルシェhaco+
#イベント



こよりどうカフェ

#歴史400年のお寺
#小さなヨリドコロ
#お惣菜



居場所づくりの展開
3枚の葉っぱ

#対話と出番
#居場所が増える
#対話のツール



戸塚宿ほのぼの商和会
事務局

#子育て×まち
#商店×まち
#子育てウェルカムな風土



とことこ /
地域こそだてカレンダー

#当事者目線
#家から出られなくても
#情報提供



ウェルカムベビー
プロジェクト

#出産祝い
#まちの人の参画
#協働のプラットフォーム



講演 / 調査 / 研究

#働きやすい職場
#子育てしやすいまち
#イノベーション



でこぼこの会

#障害



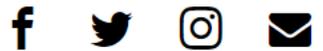
ケアラーズカフェ
えんがわ

#ダブルケア



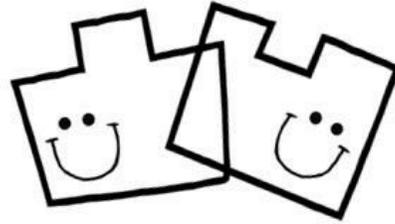
ほっと一息金曜日

#不登校
#ひきこもり



対話の場と出番をつくる

でこぼこの会



お子さんの発達に不安を持つ保護者、支援者、当事者、発達障害について知りたい方が参加し、おしゃべりや情報交換、勉強をする会です。月に一度開催し、日常の中で何度でもその方のタイミングでいらしていただけるよう、お待ちしております。

障害

ケアラズカフェ「えんがわ」



誰かを「ケア」しているあなたのための…

「子育てと介護のダブルケア」に直面している方や、「親のこれから」に不安を抱えている方、介護について早目に知っておきたい方が参加し、気持ちを共有したり情報交換をしたりする場です。家族内のケアを家族だけで何とかしようとせず、周りに甘えられる世の中になること、そんな場のひとつであることを目指しています。

ダブル
ケア

ほっとひと息金曜日



小・中・高校生世代の不登校、ひきこもりのお子さんを持つ保護者や支援者が集まり、おしゃべりや情報交換をする会で、月に一度開催しています。まずは親御さんが元気になることで、子どもにとって家庭が安全な場になると考え、笑顔を取り戻していただけるよう場をつくっています。

不登校
ひきこもり

こよりどうカフェ

(戸塚駅徒歩5分 400年の歴史あるお寺境内内：オープン2022年)



居場所⇒保育園にお惣菜を届ける事業



記者発表資料

2023年6月
内閣官房
地域における孤独・孤立対策に関する
NPO 等の取組モデル調査に採択される

令和5年6月13日
内閣官房

地域における孤独・孤立対策に関する NPO 等の取組モデル調査の採択について

NPO 等が主体となった日常生活における孤独・孤立の予防や早期対応につながる取組の普及を目指す「地域における孤独・孤立対策に関する NPO 等の取組モデル調査」について、47 件の取組を採択しました。

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kodoku_koritsu_taisaku/pdf/230613_npo.pdf

ウェルカムベビープロジェクト

まち全体で赤ちゃんの誕生をお祝いし、
子育てを応援できる社会になることを
目指しているプロジェクトです

2016年4月に、赤ちゃんと家族をお祝いする気持ちをこめて、
地域と企業から「出産祝い」をお送りすることから始まりました。

(ヤマト運輸株式会社神奈川主管支店と認定NPO法人こまちぷらすで横浜市戸塚区にて立ち上げ)

®「ウェルカムベビープロジェクト」は、
特定非営利活動法人こまちぷらすの登録商標です。(登録第6024908号)

後援：横浜市こども青少年局

まちからの「出産祝い」



「民間型プロジェクト」として運営費はご協賛とご寄付により成り立っています。

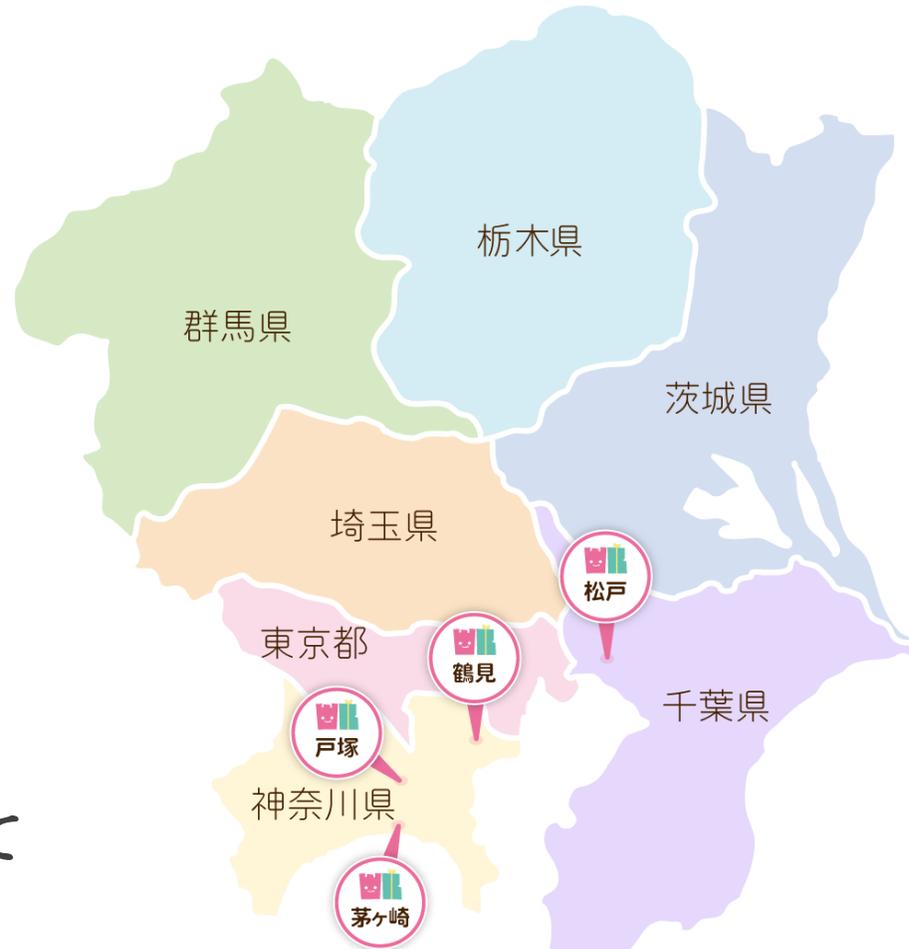
展開地域

戸塚支部/本部

認定NPO法人
こまちぷらす



茅ヶ崎支部
地域のお茶の間
研究所さろんどて



松戸支部

まつどでつながる
プロジェクト

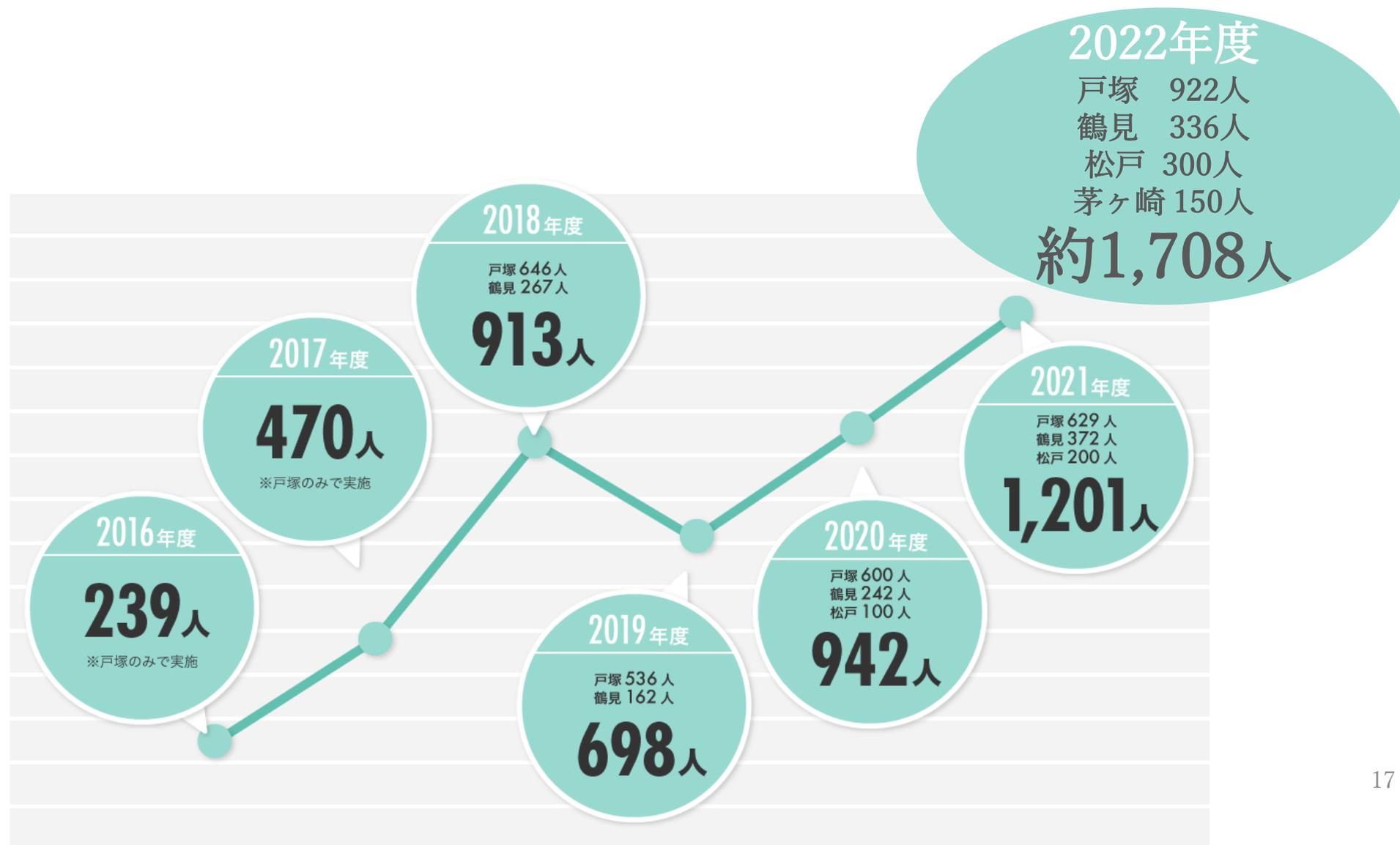


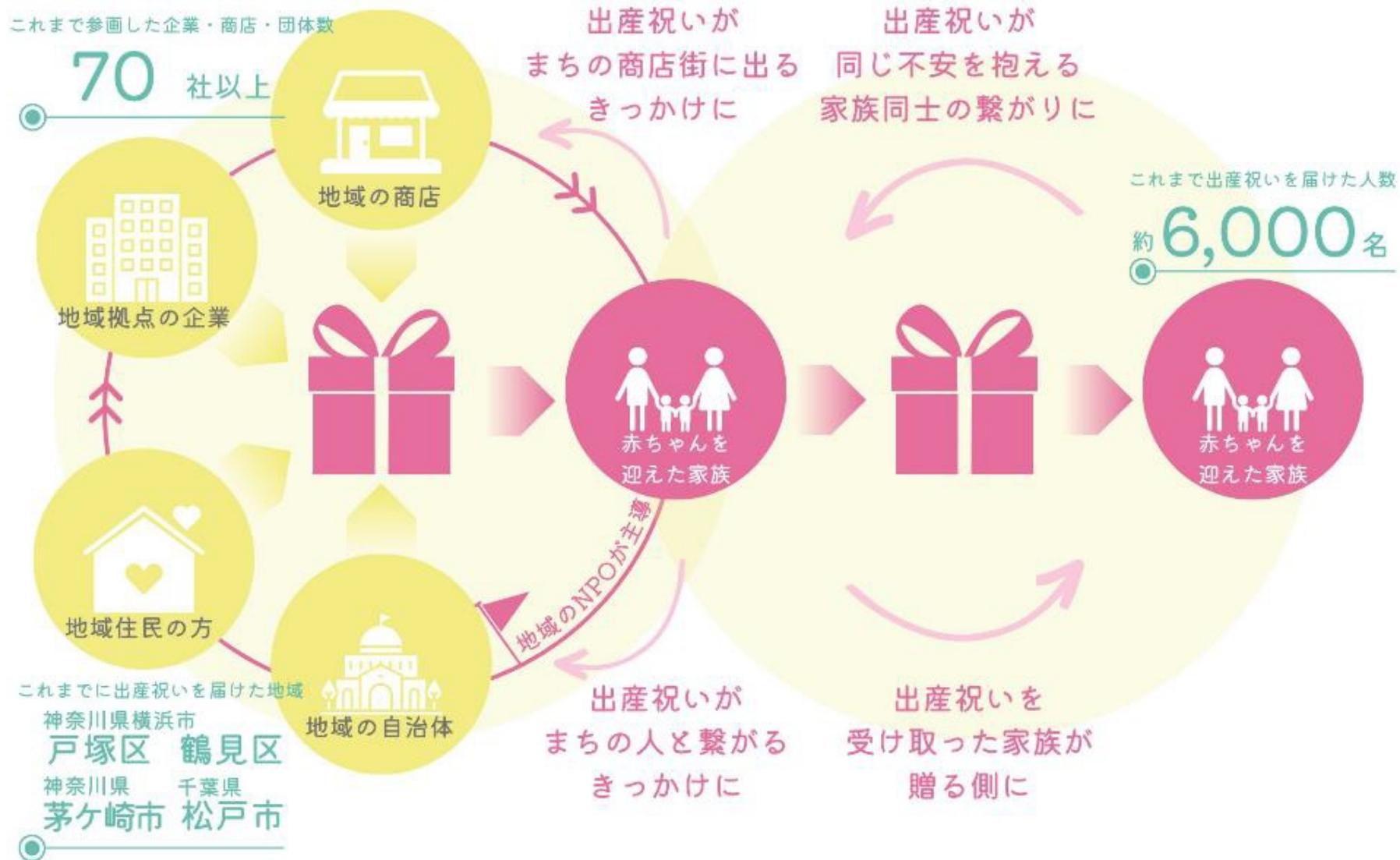
鶴見支部

NPO法人
つるみままっぷ



4 地区の出産祝いお届け数





「循環」を生むプロジェクト

受け取った方々も一緒に考える・作る



「贈る→受け取る」から「一緒に作る」循環へ



背守りについて



背守りメッセージ例

「ご出産おめでとうございます。昼も夜も赤ちゃんのことことばかりで大変なこともたくさんあると思います。お母さんとのペースで赤ちゃんとの時間を楽しめるようになることを願っています！」

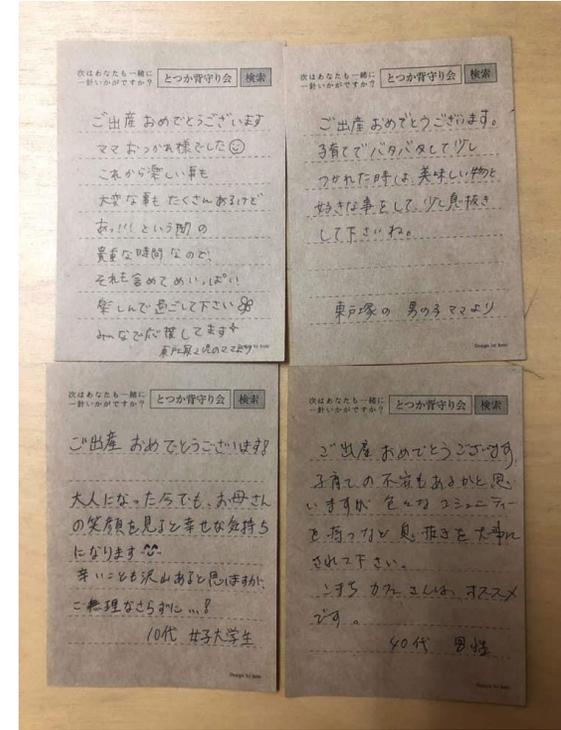
1歳1か月のママより

「ご出産おめでとうございます！お子様がすくすくと元気に大きくなりますように！一人で悩まず、楽しく子育てしてください」60代2児の父

「ご出産おめでとうございます！！21歳の学生ですが、母にはとても感謝しています。反抗したこともあったけど、今では私の1番の理解者で信頼できる母です。無理せず頑張ってください。応援しています。」

21歳の学生より

「ご出産おめでとうございます。子育ての不安もあるかと思いますが、いろいろなコミュニティ持つなど息抜きを大事にしてください。こまちカフェさんはオススメです。」40代男性



受取ったご家庭からの声

ひとつひとつ商品を作ってくれた方やメッセージを書いてくれた方、このギフトボックスを梱包してくれた方に御礼を言いたいです。

手書きのメッセージとても嬉しかったです。

普段ワンオペ育児の分優しい言葉が涙が出て嬉しかったです。

このような活動をしてくれるのは、いざという時に頼れるなあという安心感があっていいなと思います。



戸塚には引越してきたばかりだったので、知り合いもおらず不安でしたが、嬉しい気持ちになりました。

背守り縫ってくださっている方々の声

同じような趣味をもった方たちと話をするのが楽しい。

また、この背守りがどんな赤ちゃんの元へ届くか想像しながら背守りを縫うのが楽しい。

4年前に引っ越して高齢者住宅で暮らすようになったけど、知り合いがいなかった。

教え合ったりしながらそれぞれの生い立ちや昔話をしながら背守りをつくるのが楽しい。

自分の子育ても思い出したりして、背守りをつくることに今は生きがいを感じている。



パートナー企業

本部

パートナー

NOMURA
野村證券

KaO
きれいなところに 未来は

処方せん調剤・漢方薬・在地診療
仁天堂薬局



MITSUBA HOUSING

KIRIN
東京キリンビバレッジサービス株式会社

サブライパートナー

 **大川印刷**
OHKAWA PRINTING, SINCE 1951

WEBDESIGN
たき田きた

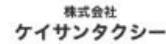
パートナー企業

戸塚地区

戸塚地区パートナー



戸塚地区プレゼントパートナー



戸塚地区サプライパートナー

戸塚新聞

鶴見地区

鶴見地区プレゼントパートナー



鶴見地区サプライパートナー



おむつとの飲み物自動販売機の誕生

プロジェクトに参加した東京キリンビバレッジサービス株式会社と花王株式会社で開発（2017年）



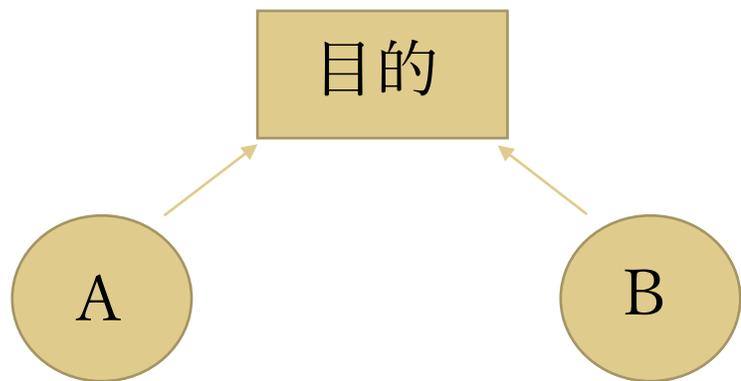
おむつ自動販売機がこのプロジェクト主催のワークショップから誕生。

2017年3月に1号機を設置して以来、区役所や行政関連施設、商業施設や空港等全国約100か所に広がっている。

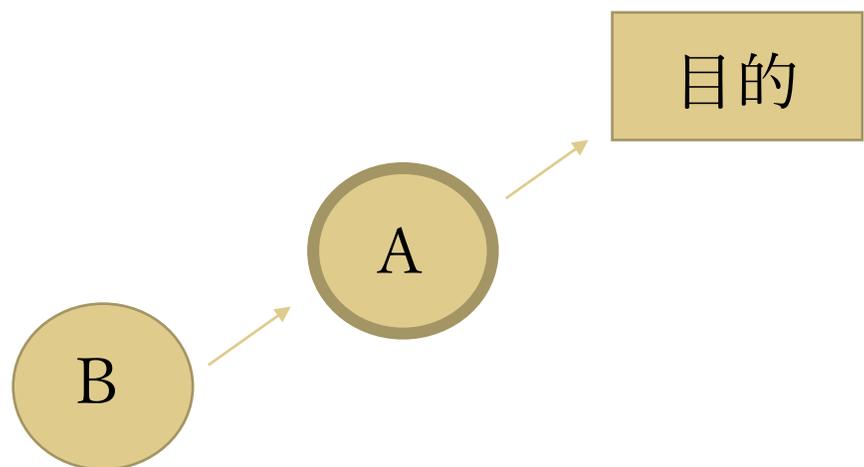
現在は、他社でもおむつ自動販売機が設置が進んでいる。

飲料・おむつ・液体ミルクも入った自販機も千葉県松戸市で誕生。災害時も命をつなげるインフラに。

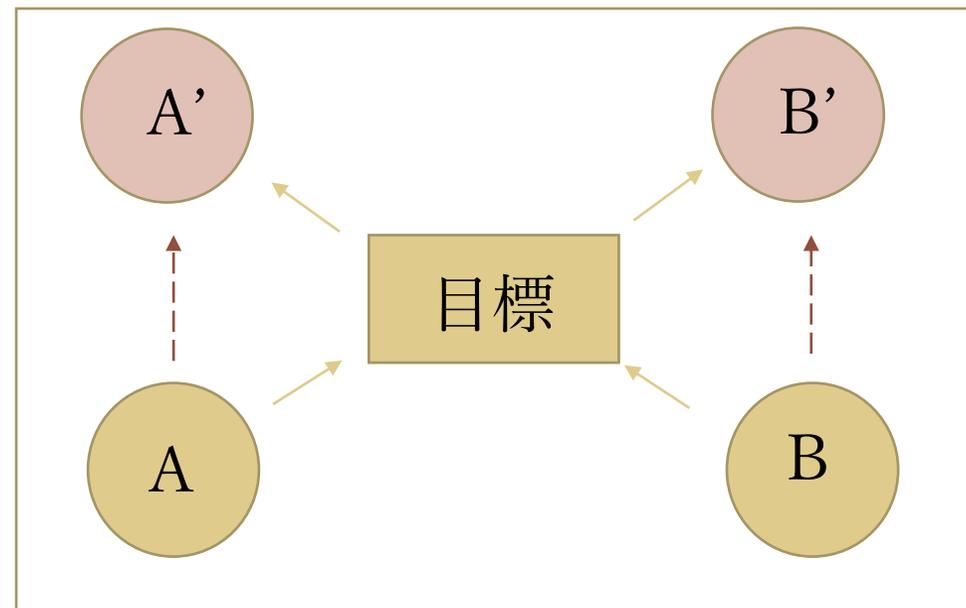
協働の考え方



ともに目的が同じで、同じように活動する



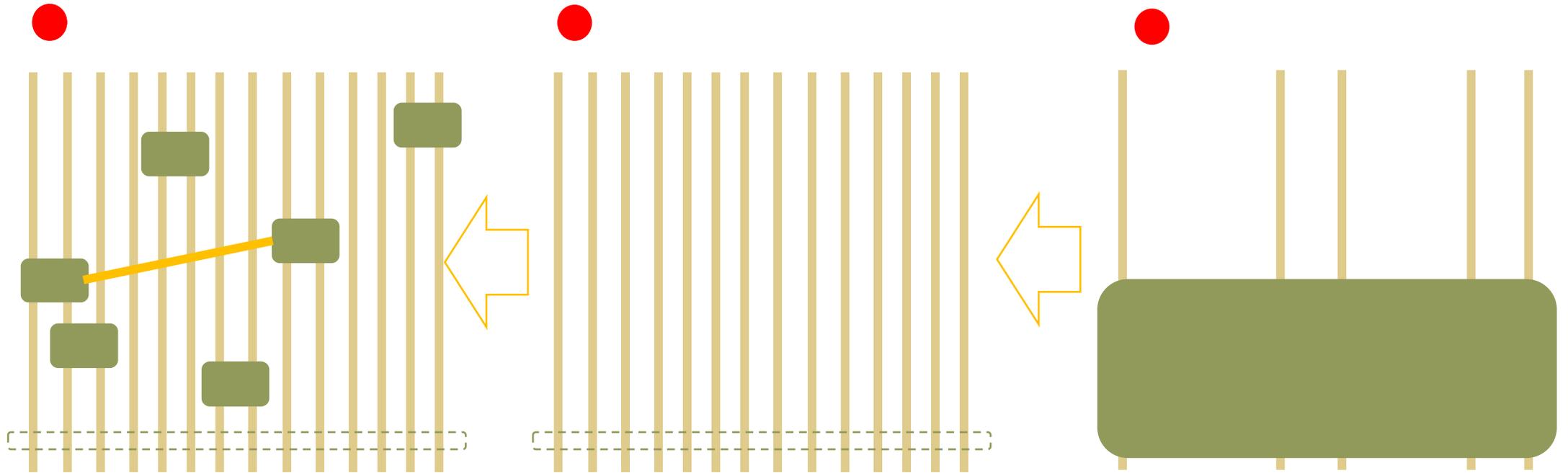
ともに目的が同じだが、主役AにBが協力する



目的は違うのだが、
同じ目標を達成することで、各目的を達成。

それぞれの「したいこと」が違う、という前提のもとに、
「共有の目標をつくる」

なんとかなる「クッション」が増えていく



本日の流れ

- 自己紹介
- 協働事例について
- 学校での事例について
- 協働のポイントについて
- ワーク
- まとめ



先生によるお話し

本日の流れ

- 自己紹介
- 協働事例について
- 学校での事例について
- 協働のポイントについて
- ワーク
- まとめ

本日の流れ

- 自己紹介
- 協働事例について
- 学校での事例について
- 協働のポイントについて
- ワーク
- まとめ

ペアワーク

自分が知っている学校と地域の連携している事例について相手と共有してみてください。

観点例)

※誰がどんな風に関わっているか

※こどもたちの主体的な学びにどうつながっているか

※何が課題か 等

問い

「地域との連携をしないと」から始まっていないか

「やらされ感」がないか

「自ら学び、社会とつながり、ともに未来をつくる人」
に、つながっている取り組みだろうか。

連携する「必然性」があるか

ポイント

- 何のために
- 児童生徒、教職員、地域の人が安心して楽しく関わられている、環境と関係性づくり（教職員自ら楽しんでいることが何より求心力に）
 - ▶ そのためには自分の中にある思いから出発
- 自分の存在/役割を誰かが喜んでくれている！そんな実感得られるような弱いつながりをこどもたちの周りに
 - ▶ 保護者、先生以外の「価値観」が世の中にあることを知る

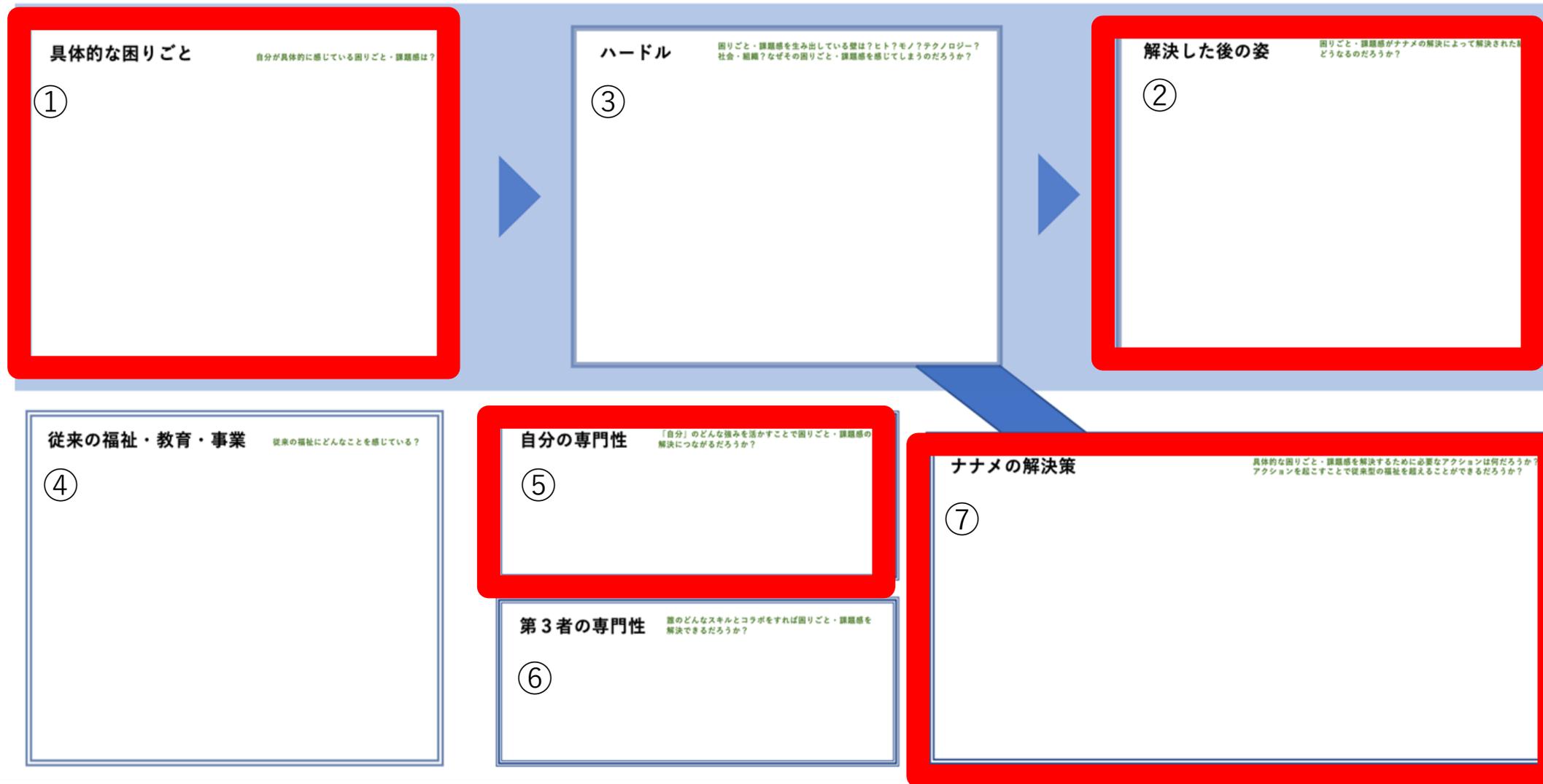
しかし・・・連携を始めると様々な困難も。

期待のすれ違い。

「自分たちがお願いをしたいこと」と「相手のできること」のマッチングで終わってしまい、徐々にミスマッチが生まれたり、気持ちりが消耗。

お願いした手前、「NO」という難しさ。

活用できるツール例



現状・課題

①

現状を具体的に。
どんなことが課題？

ハードル

困りごと・課題感を生み出している壁は？ヒト？モノ？テクノロジー？
社会・組織？なぜその困りごと・課題感を感じるのだろうか？

③

困りごと・課題感を
生み出している壁は？
ヒト？モノ？テクノロジー？
社会・組織？何故その困りごと・
課題感を感じるだろうか？

解決した後の姿

困りごと・課題感がナナメの解決によって解決された結果
どうなるのだろうか？

②

こどもたちが
「自ら学び 社会とつながり
ともに未来を創る人」に
なっている

既存の取り組み

④

既にやっていること
できていることもある。

それはどんなこと？

自分の専門性

「自分」のどんな強みを活かすことで困りごと・課題感の解決につながるだろうか？

⑤

「自分」のどんな強みを
活かすことで困りごと・
課題感の解決に
つながるだろうか？

第三者の専門性

誰のどんなスキルとコラボをすれば困りごと・課題感を解決できるだろうか？

⑥

誰のどんなスキルとコラボを
すれば困りごと・課題感を
解決できるだろうか？

ナナメの解決策

具体的な困りごと・課題感を解決するために必要なアクションは何だろうか？
アクションを起こすことで従来の福祉を超えることができるだろうか？

⑦

具体的な困りごと・課題感を解決するために
必要なアクションは何だろうか？
アクションを起こすことで
「解決した後の姿」は実現できるだろうか？

ここは必ず「自分・自分たち」を主語に。

現状・課題

ハードル

困りごと・課題感を生み出している壁は？ヒト？モノ？テクノロジー？
社会・組織？なぜその困りごと・課題感を感じるのだろうか？

解決した後の姿

困りごと・課題感がナナメの解決によって解決された結果
どうなるのだろうか？

②

こどもたちが
「自ら学び 社会とつながり
ともに未来を創る人」に
なっている

既存の取り組み

自分の専門性

「自分」のどんな強みを活かすことで困りごと・課題感の
解決につながるだろうか？

⑤ 「自分」のどんな強みを
活かすことで困りごと・
課題感の解決に
つながるだろうか？

第三者の専門性

誰のどんなスキルとコラボをすれば困りごと・課題感を
解決できるだろうか？

ナナメの解決策

具体的な困りごと・課題感を解決するために必要なアクションは何だろうか？
アクションを起こすことで従来の福祉を超えることができるだろうか？

自分の専門性、強み

目標に対して、自分の専門性だけではできないことがある。

- そこへの気づきから、連携の必然性が出てくる
- 連携したい相手が見えてくる



自分の専門性、強みとは

- 「できる、できない」の価値軸だけではない。
- その人の【当事者性】
 - 例) (幼少期に) どんな経験をして、どんな感じ方をしているか
 - 例) 父親であること、兄弟に障害があること、親の介護をしていること
 - 例) どんな方との出会いがあったか

こうしたこともその人の強み、専門性。

例) 小さいころにたくさんの大人に囲まれて育った➤子どもたちに自分のように素敵な大人に出会ってほしい➤こどもに関わる仕事

協働において大事なポイント

- ・ 「目標」に賛同する参加者が、関わる中で安心し、楽しいと感じ、元気になること。
- ・ そのためには、個人の意志や想いが起点にあること
- ・ 価値創造は、その意志や想いを持つ個人が、周囲を巻き込むことから始まるということ

=つながるということは、まず、自分自身とつながること。

協働において大事なポイント

教職員の皆さん自身が自分とつながって語れているか。
子どもたちはどうか。

- ・ 内容（何をするか）の前に、個人の意志や思いへの伴走が必要。

Leading from one step behind

(一步後ろから導く)

ドア空けますね



段差に気をつけて

ガウンを着て杖をついて歩く人が

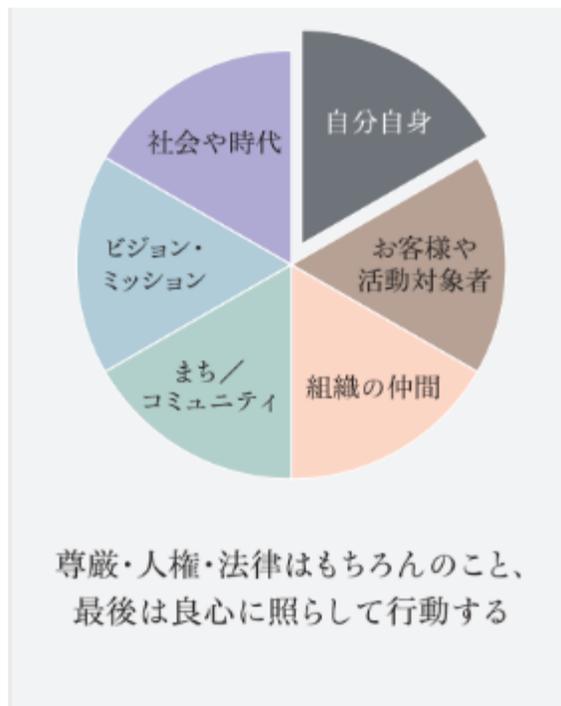
自分の意志で歩くことを

ポロシャツを着た人が

(迷わないように・転ばないように)

一步後ろについて支援している

こまちぷらすの「クレド」



自分自身

私の原点、私の琴線、
私の専門性

自分の原点、「楽しい」、共感、安心、ありたい姿を大事にしよう。

自分の視野は5度

自分の見えている視野はたったの5度。他の人から見えている5度も意識しよう。

お客様や活動対象者

ラベルで人を見ず、
人の6面を見る

人は自分が今見ている1面のほか、5面くらいあることを忘れないようにしよう。

良くしようとするのは
やめたほうがよい

自分が「良い」と思っていることだけを基準に相手の状況を変えようとしなさい。

組織の仲間

豊かにゆらぐ

「正しさ」も本当にそうなのかと、つながりのなかで豊かにゆらいでみよう。

「のりしろ」と「関わりしろ」のあるチームに

嬉しいエピソードを仲間と共有しよう。人が関われる余白を仕事の中につくろう。

お客様や活動対象者

ラベルで人を見ず、
人の6面を見る

人は自分が今見ている1面のほか、5面くらいあることを忘れないようにしよう。

良くしようとするのは
やめたほうがよい

自分が「良い」と思っていることだけを基準に相手の状況を変えようとしなさい。

ビジョン・ミッション

子育てが「まちの力」で
豊かになる社会につながる

迷ったらまず、ビジョン・ミッションに立ち返ろう。

事業を支える人・つながり、
お金が続く仕組みがある

組織的に、経済的に、持続可能な仕組みになっているか立ち止まって考えよう。

社会や時代

声なき声を聴き、
翻訳しよう

埋もれたニーズを一人一人の声やデータから拾って伝わるよう翻訳していこう。

やってみなくちゃ、
わからない

未来は誰もわからない。あれこれ考えてもわからないときは、まず小さく動こう。

まち/コミュニティ

遠くに行きたければ
みんなで行く

自分たちだけでやろうとしない。時間がかかってもみんなで行けば遠くにいける。

関わる人が幸せに、
まちも豊かに

関わる人、一人一人が嬉しく、まちも結果豊かになる循環をつくろう。